

がんの検診や治療に膨大なエネルギーを費やしながら、日本でがんによる死亡者数がいっこうに減らないのはなぜか？ という疑問と対策に答える本

癌・温熱療法の科学

改訂版

2022年
3月
刊行

～がん細胞が正常細胞にもどるとき～

癌代謝病・免疫研究会会長

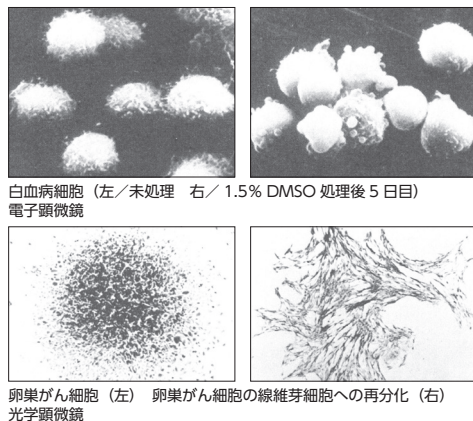
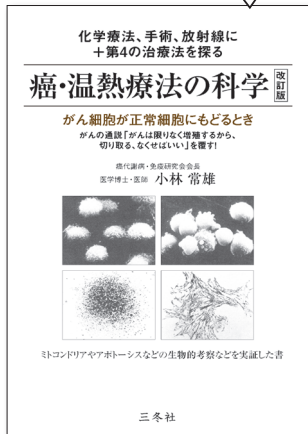
がんの通説「がんは限りなく増殖するから、切り取る・なくせばいい」を覆す！ 医学博士・医師 小林 常雄 著

化学療法、手術、放射線に
+第4の治療法を探る

2004年発行の本を改訂復刻！
1,000人以上の医師・研究者
が読んでいます。

「正常細胞はなぜがん化するのか」「がん細胞は正常細胞に戻るのか」「がん細胞が正常細胞にもどるときの条件は何か？」がんは熱に弱い、ミトコンドリアとがん、正常細胞が熱エネルギー不足になった時など、生物学的考察・科学的理論と臨床を結び付けた話題の本を改訂復刻！

《推薦》 末期の子宮がんの後、双子を授かりました。温熱療法をがんの治療法・予防法として誰でも利用できるようにしてほしい。 ————— 93年NHK「人間はなぜ治るのか」に出演 長友 明美



目次・内容

- 第1章—治ってこそ本当の治療
 - 腫瘍マーカー ■温熱療法 ■リフレッシュ療法
- 第2章—新しい視点で癌を考える
 - 現代の癌治療の致命的欠陥
- 第3章—癌とは何か
 - 癌を見る視点を変える ■食生活習慣の変化と各種癌死との関係
- 第4章—温熱と癌
 - 温熱療法の実験 ■矛盾をはらむ日本の癌医療
- 第5章—癌・夢の治療法
 - 温熱療法とアポトーシス ■再分化—癌細胞を正常細胞にする
- 第6章—医療における新しい提案

●ISBN978-4-86563-081-7 ●2022年3月発行 ●四六判136頁
●定価1,320円(本体1,200円+税10%)

再発・転移を防ぐ 癌がわかる 腫瘍マーカーの教科書

癌代謝病・免疫研究会会長

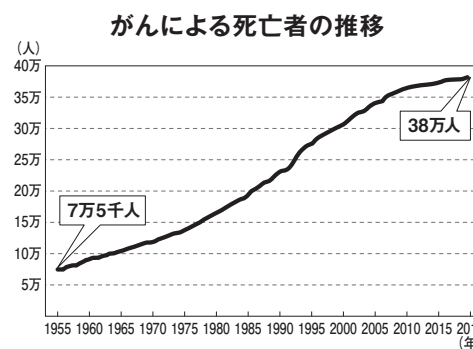
医学博士・医師 小林 常雄 著

2022年
4月
刊行

医師・治療家のための
専門書

医師・看護師・鍼灸師など腫瘍マーカーの見分けがわかると治療が理論的になります

特異マーカー、関連マーカー、がん血管から出る情報の3つの組み合わせで再発・予防リスクがわかる



1965年、約10万人/年だったがんの死亡者が、2019年には38万人/年に増加している。がんの死亡者を減少させるには、再発と転移を防ぐことが必要です。

- 第1章—腫瘍マーカー検診の読み方
- 第2章—TMCA 検診の応用
- 第3章—免疫の検査
- 第4章—進行がんの治療法
- 第5章—人体をどう見るか！

■著者プロフィール

癌代謝病・免疫研究会会長・東京白銀台クリニック がん再発予防センター長
医学博士・医師
小林 常雄

1944年鳥取生まれ。69年鳥取大学医学部卒業後、国立がん研究センター内地留学、72年～74年京都大学大学院、79年東京大学大学院で博士号を取得。79年以後、一般総合病院副院長、京北病院院長 IMHCクリニック院長を歴任。現在、癌代謝病・免疫研究会会長、東京白銀台クリニックがん再発予防センター長を務める。NHK(ETV) 放映の「人間はなぜ治るのか? 第2回癌からの生還」治療本が大きな反響を呼んだ。16年9月アメリカ総合医療学会で招待講演、「生涯費」を受賞。
著書として、『ついにわかった癌予防の実際』(主婦の友社)、『癌、温熱療法の科学』(東洋医学舎)、『告知してこそがんは治る』(現代書林)、『ガン病棟7割生還』(トクマックス新書)、『ガンを消す自己治療力』(同文書院)、『健康情報革命 ボケ、ガン常識を覆せ』(イーブック新書)、『免疫力を高めるコツ50』(同文書院)、『がんの正体がわかった!』(創藝社)『今こそ知るべきがんの真相と終焉』(創藝社)『癌・温熱療法の科学』(三冬社)ほか多数。
癌代謝病・免疫病研究会 HP <https://tmcaj.com/>

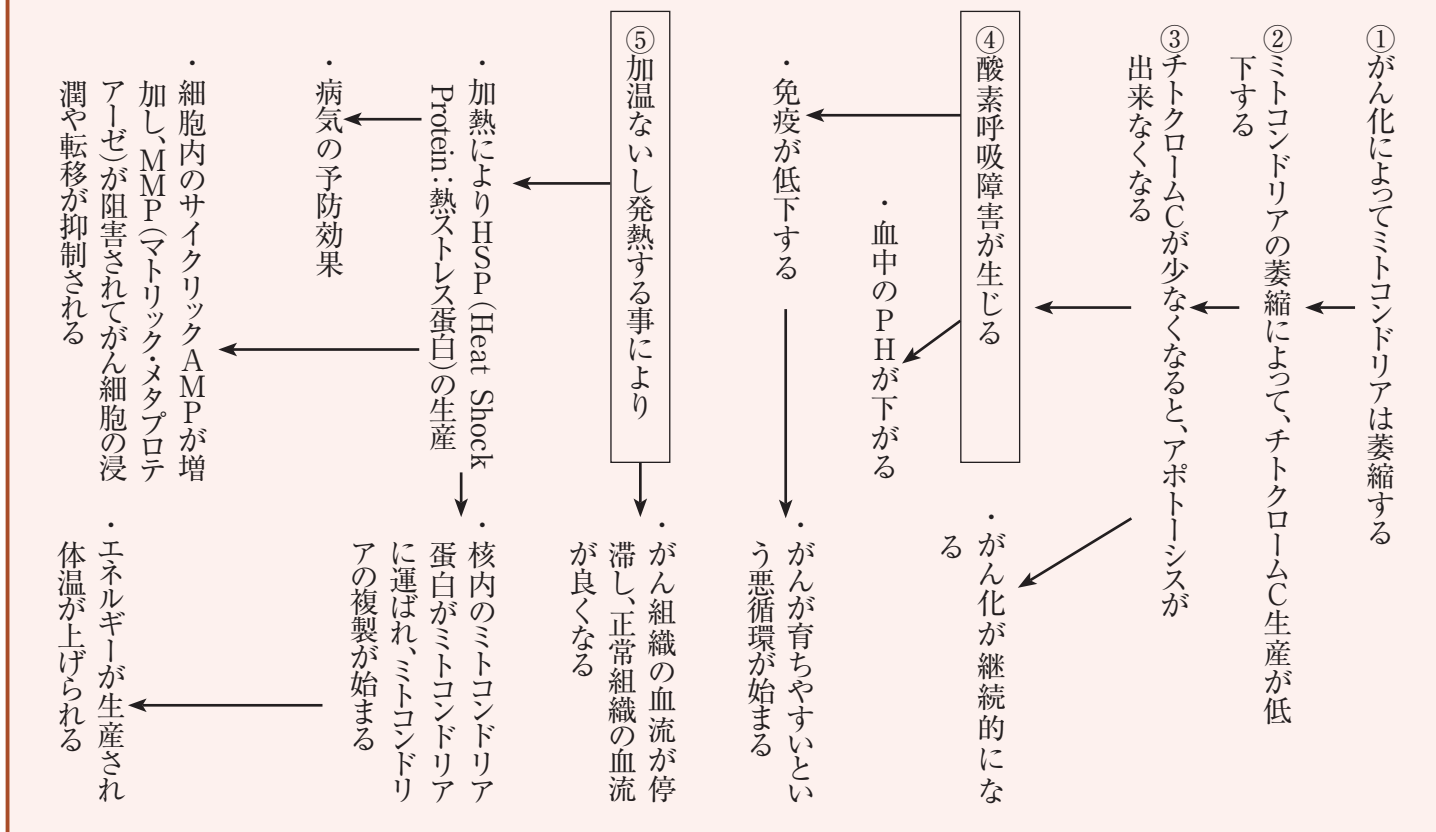
●ISBN978-4-86563-083-1 ●2022年3月発行 ●四六判128頁
●定価2,420円(本体2,200円+税10%)

全国の書店、Amazon でお求めいただけます。

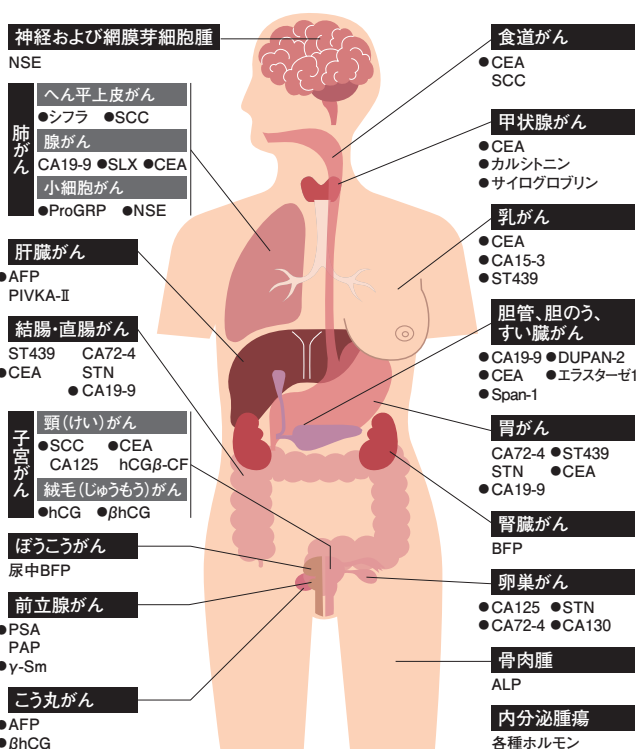


● 癌・温熱療法の科学《内容》

—アポトーシスを左右するミトコンドリア—

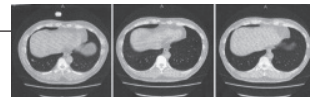


● 癌がわかる腫瘍マーカーの教科書《内容》



・ Time course :	28/12/2015	14/1	18/2	17/3	19/4	13/6/2016
・ Ferritin (FT) :	489	337	186	225	195	208
・ Serum iron (Fe) :	75	67	49	78	71	85
・ FT/Fe :	6.5	5.0	4.0	2.8	2.7	2.4
・ Thymidine kinase :	59.1	4.9	2.1	3.6	3.1	4.5
・ α 1-gI fraction :	3.0	2.6	2.6	2.4	2.4	2.4 %
・ Albumin :	60.7	60.4	62.3	60.7	60.2	61.1 %
・ TS risk assessment :	TS(V) (G ₁)	TS(IV)	TS(IV)	TS(III)	TS(III)	TS(III)
・ CT exam :	metastasis (+) (-)					

Tx=漢方薬 (SA) + re-differentiation Tx + Detox



単独の特異的腫瘍マーカー → 複合マーカーで診断

フェリチンを血清鉄で割ったものは腫瘍の拡大との相関が高い

フェリチン(FT) / 血清鉄(Fe) → 高くなる……腫瘍の拡大を予測
 ↓ 低くなる……腫瘍の縮小を予測

※がんの増殖状況では血清鉄(Fe)に対して、フェリチン(FT)は増加することが多い。
 ※FT/Feの診断法は、米スローンケタリングがんセンターの論文をベースに著者が考案。